

大規模事業EBPM

● グリーンイノベーション基金事業

アウトカム指標毎の測定手法を検討するとともに、各プロジェクトの進捗状況等を把握するための、長期アウトカムに対する期待値に係る推計モデルを検討。

● 先端半導体の国内生産拠点の確保

5G促進法に基づく2つの先端半導体生産プロジェクトについて、経済面から評価を行う経済効果分析を実施。 具体的には、①直接評価モデル、②産業連関分析、③CGEモデルの三つのモデルで分析。

※本分析の実施後も、検討の前提となった事実や政策を巡る状況変化に応じたデータの検証や公開プロセスでの指摘なども踏まえた改善を検討。

重点フォローアップ事業

● コンテンツ海外展開促進事業

初期・中期・長期アウトカムを経年変化ではなく、政策効果の発現経路を辿るものに変更。また、予算の必要性を定性的なエビデンスを踏まえて記載。

Ex.コンテンツを巡る世界の競争環境が激変しており、迅速に世界の環境変化に対応する必要がある旨記載。

Ex.初期：商談会等の参加者数、中期：商談に向けた議論が進められている数、長期：成約金額とアウトカムを設定。

● 中小企業生産性革命推進事業

複数回・複数年度に渡って支援する事業について、全ての公募に係る事業の終了を待たずにフォローが可能なアウトカムに修正。また、外部環境の変化等による影響の少ない指標に修正。

Ex.アウトカムを「補助事業者全体」→「事業終了後の補助事業者」と修正。

Ex.アウトカムを「経常利益の伸び率」→「付加価値額の伸び率」と修正。